

- ・会費の振り込みの際は、お近くの郵便局をご利用下さい。
- ・振込手数料がかかります。ご了承下さい。
- ・お問い合わせは関西自然保護機構 06-6697-6262 まで

00 大阪

口座記号番号

00990216679

金 額

※ 千 百 十 万 千 百 十 円

加入者名

関西自然保護機構

金 料

金

備考

※・必ずご記入下さい。
■所属・専門（あれば）
■学生の場合、学年
■E-mail（あれば必ず）：
・会誌送付先がご依頼人欄と異なる場合はご記入下さい。
■住所：〒（ ）
■電話：
■FAX：
■E-mail：
※ おところ（郵便番号 ）
ご依頼人 おなまえ
（ご連絡先電話： FAX： ）
裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちよ銀行）（承認番号大第 43485 号）
これより下部には何も記入しないでください。

日 附 印

009902

16679

金 額

※ 千 百 十 万 千 百 十 円

加入者名

関西自然保護機構

金 料

金

備考

※ おなまえ
ご依頼人
（記載必）
日 附 印
様
この受領証は、大切に保管してください。

当会役員

関西自然保護機構役員名（2008 年 3 月 1 日～）
関西各地の研究機関に所属する自然系研究者が役員を担っています。

名 誉 会 員	吉良 竜夫	四手井 綱英	宮本 憲一
会 長	石井 実		
副 会 長	山西 良平		
運 営 委 員	奥平 敬元	角野 康郎	神崎 護
	野寄 玲児	原田 泰志	熊井 久雄
	渡部 健	前迫 ゆり	佐久間 大輔
	堀 道雄	村上 興正	布谷 知夫
	森本 幸裕	和田 恵次	和田 岳
監 事	大久保 その子		
事 務 局 員			



入会のお誘い

関西自然保護機構で自然保護に関する情報の交流を
しませんか？
入会資格はありません。どなたでも入会できます。

■ 関西自然保護機構 (KONC) は、自然保護と自然環境保全について共に考える学際
的な団体です。すでに 30 年に達する実績があり、広いネットワークを持った活動
を行っています。多くの方々の入会をお待ちしています。

■ 会員には、年 2 回発行の関西自然保護機構会誌が配布されるとともに、研究助成
事業への応募及び、会誌への投稿資格が与えられます。研究成果の発表の場として
活用下さい。また、KONC NEWSを通じて当会主催のシンポジウム、見学会、セミナー
などの行事への案内が送付されます。

■ 会費は、一般（年額）5,000 円 学生（年額）3,000 円 です。

■ 維持会員は、一口 100,000 円 です。事務局へお問い合わせ下さい。

■ 入会、または資料をご希望の方は、下記の連絡事項を KONC 事務局まで電子メー
ルまたは郵送でお送りいただき、左欄払込用紙にて会費をお振り込み下さい。

【連絡事項】

書類・会誌等の送付先：☐ 所属先 ☐ 自宅
氏名（ふりがな）：
所属・専門（あれば）：
会誌送付先住所：〒（ ）
電話：－
FAX：－
メール：@

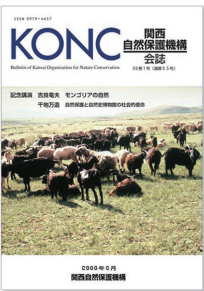


関西自然保護機構 事務局

〒546-0034 Tel : 06-6697-6262
大阪市東住吉区長居公園 1-23 Fax : 06-6697-6306
大阪自然史センター気付 e-mail : konc@mus-nh.city.osaka.jp

会誌の発行

会誌は、関西の自然保護上重要なトピック
を特集し、また事例研究・記録などを掲載
しています。



上より
第 30 巻 1 号、第 29 巻 2 号
第 29 巻 1 号、第 28 巻 1 号

バックナンバーを販売して
います。目次・購入方法な
ど詳しくは下記 URL まで。
<http://www.omnh.net/konc/>

第 30 巻 1 号（2008 年 6 月）～ 通巻 55 号

巻 頭 言	自然保護から生物多様化保全へ－新生 KONC の目指す方向－	石井 実
記念講演	モンゴリアの自然	吉良竜夫
原 著	自然保護と自然史博物館の社会的使命	千地万造
	ギギの繁殖制限要因としての営巣場所の不足と人工巢の実用性	山根英征・渡辺勝敏
	琵琶湖の堅田内湖におけるテナガエビとスジエビの季節的消長と	
	侵略的外来魚の増加に伴う個体群サイズの縮小	中川雅博・松本瑠偉・鈴木啓士
短 報	瀬田川・琵琶湖へのナマズ腹口吸虫	
	<i>Parabucephalopsis parasiluri</i> の分布拡大	浦部美佐子・田中正治・中村大悟
セミナー「里山生態系とナラ類の種生態」	里山林でコナラが優占する仕組み	大住克博・石井敦子
	滋賀県湖西地域の里山利用の解明に向けた 2 つのアプローチ	堀内美緒
随 筆	自然へのアプローチ—今、若い研究者がとりにくんでいること—8	千濁の生物の生態・行動・分類・保全に関する研究
書 評	「土壌動物学への招待 採集からデータ解析まで」	渡辺弘之
	「深泥池の自然と暮らし 生態系管理をめざして」	佐久間大輔

第 29 巻 2 号（2007 年 12 月）～ 通巻 54 号

巻 頭 言	自然史（誌）系博物館と自然保護	千地 万造
原 著	奈良県春日山のカナクギノキの種子生産を制限する要因(英文)	平山大輔・山倉拓夫
	琵琶湖の堅田内湖で見られたブルーギルと	
	オオクチバス増加に伴う主要コイ科魚類の減少	中川雅博・鈴木啓士
	近畿の雑種タンポポの発芽に及ぼす温度の影響	赤阪俊介・伊東 明・名波 哲・平山大輔・山倉拓夫
	滋賀県湖東地域における鳥類によるクマノミズキ	
	<i>Cornus brachypoda</i> の果実採食と種子散布	濱田知宏・近 雅博・野間直彦
シンポジウム 雑木林の自然史－ナラ林の生態系を考える－	シンポジウムの趣旨について	
	雑木林の自然史－ナラ林の生態系を考える－	野寄玲児・佐久間大輔
	ナラ林の自然史と二次的自然の保護	野寄玲児
	最終氷期以降のナラ林の変遷－気候変動と人間活動の影響	高原 光
	ナラ林の菌類とその保全	佐久間大輔
随 筆	自然へのアプローチ—今、若い研究者がとりにくんでいること—7	森林生態系の構造と機能を探る
		名波 哲
会員の皆様へ：	関西自然保護機構と大阪自然史センターとの合流に際して	千地万造

最近の特集記事	第 28 巻 2 号（2007 年） 関西の自然を考える・和歌浦の干潟
	第 28 巻 1 号（2006 年） 生物多様性と外来種
	第 27 巻 2 号（2005 年） 田園の生き物を考える
	第 27 巻 1 号（2005 年） 生物に関わる資格の意義と役割
	第 26 巻 2 号（2004 年） 河川汽水域生態系のありよう